

# 地域おこし協力隊

厚真町で活動している地域おこし協力隊をご紹介します！

現在活動している協力隊〈1月末現在〉

農業▷9人 教育魅力化▷3人 スポーツ▷1人  
起業型▷10人 協働型▷11人 福祉▷1人

農業支援員  
しょうじ はやと  
東海林 勇人さん

着任：令和3年4月(3年目)  
出身：札幌市



## —就農を志したきっかけを教えてください。

前職は部品加工工場で働いていました。残業も多く早朝出勤もあり、家族でゆっくり過ごす時間がなかなか取れずに悩んでいました。自分で何かをやってみたいし、家族との時間をちゃんと取りたいと思っていました。農業に興味があり、軽い気持ちで就農フェアに参加して厚真町のブースに立ち寄った際に、親切にアドバイスしていただき、研修農場で学べる環境が整っていることに魅力を感じました。夫婦で話し合ったら就農を決めました。

## —実際に厚真町で過ごしてみた感想は？

当初は、地域の人たちに受け入れてもらえるのかとても不安でした。私たちに対する目が厳しいのではないかと、びくびくしていました。実際に移住してみると優しい人が多く、私たちを温かく迎え入れてくれて

ホッとしました。また、子どものいる農家さんとも仲良くさせてもらっていて、子育てにはとてもいい環境だと感じています。

## —3年間でどのようなことを学びましたか？

研修農場では、ほうれん草とイチゴの生産方法をはじめ、多岐にわたって農業を学びました。研修1年目から「就農後はイチゴを生産する」と決めていました。そのための勉強に加えて、近隣のイチゴ農家さんでのアルバイトなどで経験を積みました。妻が電話やインターネットを使ってアルバイト先を探してくれたのでとても助かりました。2年目はビニールハウスを探することに一生懸命でしたね。色々な地域に行き、とにかくビニールハウスの解体作業にも時間を割きました。

## —今後の夢や目標を教えてください。

まずは、イチゴ部会に迷惑がかからないようにしたいです。品質やロット数をしっかり守って、良質なイチゴを育てられる農家になることが一番の目標です。夢は、家族笑顔で農業をずっと続けていくことです。

## —間もなく卒業ですね。メッセージをお願いします。

移住してきた私たち家族を温かく受け入れて頂きありがとうございます。これから、みなさんに迷惑をかけないように精一杯頑張っていきたいと思っています。家族ともどもよろしくお願いします。

## 地域おこし協力隊・地域活性化起業人 活動報告会

町を拠点に活動している地域おこし協力隊と地域活性化起業人、総勢30人の活動報告会を行います。新規事業の立ち上げや新規就農に向けた取り組みなどを紹介します。

町内の地域おこし協力隊は、1月末現在で農業支援員9人、教育魅力化支援員3人、スポーツ支援員1人、起業型10人、協働型11人、福祉支援員1人の合計35人が活動しています。

また、3大都市圏に所在する企業等の社員が、ノウハウや知見を生かして一定期間、地方自治体で地域の魅力や価値の向上、地域経済の活性化などを進める地域活性化起業人(起業人材派遣制度)は、町内で3人が活動を続けていて、町づくりや起業支援に携わっています。

日時・会場

2月28日(水)  
2月29日(木)

両日とも9時～14時(予定)  
総合福祉センター



昨年の活動報告会の様子

参加方法(無料)

### ・会場に会場して参加

直接会場にお越しください。  
(申し込み不要・入退場自由)

### ・オンラインで参加

当日はオンライン会議ツール「Zoom」を使用してインターネット配信も行います。視聴希望者はQRコードからお申し込みください。視聴用URLをお知らせします。

オンライン配信  
視聴申し込み



問い合わせ 株式会社エーゼログループ厚真町支社  
☎070-1226-0980

※本報告会は厚真町が委託し、株式会社エーゼログループ厚真町支社が企画運営しています。